

平成15年1月1日(水曜日)

蓮光院の大日如来坐像

未・申年生まれの守り本尊

市 津

未・申年生まれの守り本尊は、大日如来。道長の子である法助僧正の教化で現在の真言宗になった。又、藤堂家守護の祈願

寺でもあり、初馬寺の寺号は延宝8年(1680年)藤堂高頭より下付された。

同寺は聖徳太子ゆかりの寺。太子自らの手で彫り、像高89・4cm。弘仁時と伝わる馬頭観世音菩薩が代(平安前期)の作。

本尊で開創は推古天皇26年、西暦618年3月初午の日。法相宗だったが、仁治3年(1242年)藤原明はあらゆる煩惱の暗を除



重文・大日如来坐像

き、慈悲の光明は全てのもに救いの手を差し伸べ、知恵と慈悲は絶え間ないといわれる大宇宙の根源的仏。曼陀羅の中心に一番大きく描かれている仏様だ。諸仏を具現したとされる。蓮光院の大日如来は、胸前で左手の人の指し指をまっすぐに立て右手の拳で包み込む智拳印を結んでいる。引き締まった体、目尻を上げたと訪れ、心静かな時間を過ごすものいいかも。

通常は収蔵庫に安置されているが、毎年、初午会式で御開帳される。今年は3月9日・10日。また、4月に四日市市立博物館でも展示する。蓮光院には、その他、阿弥陀如来坐像(鎌倉時代作、重文)も安置されている。未・申年生まれでなくとも訪れ、心静かな時間を過ごすものいいかも。